

劇団松阪ドラマシティ第13回公演

～ふるさと松阪の深まる秋、さがしてみたいもう一つのジブニ～

色は白えで ♪ 冬 来 た る

脚本・演出：中北幸宏

2018年10月28日(日)

12:30 開場 / 13:00 開演 16:00 開場 / 16:30 開演

松阪市産業振興センター 3F ホール

前売：800円 当日：1000円

詳しいお問い合わせは、劇団員もしくは代表 奥村 (090-8736-5972) まで。
または公式ホームページ <http://fanmami.sakura.ne.jp/matsudora.html> でご確認ください。



《後援》松阪市 松阪市教育委員会 中日新聞社 夕刊三重新聞社 三重県地域劇団協議会
《主催》劇団松阪ドラマシティ ～お陰様で、劇団松阪ドラマシティは今年15周年を迎えました～



夢とか憧れをもつことに彩られていたあの頃。そのうちの一つでも運よく
手に入れたとしたら幸せな人生といえるでしょう。

しかし、そのあとの足跡はレッドカーペットが用意されているわけではありません。
「世間」とか「理不尽」とか「忖度」とか「裏切り」とかいう妖怪もどきとの戦いの連続で、こんなはずじゃ
なかったと後悔しきりです。そして一番の敵は「自分」という得体のしれない未確認飛行物体かも
しれないことに気づかされるのがオチ。大人になるってやさしいことじゃないのですね。

この物語は、新任教師の山野楓が教師という仕事の難しさに足踏みしながらも、かつての恩師、
地域の人、生徒との心の交流を経て、大人への階段をのぼっていかうとする物語です。シーンの
多くが「ファンタジー」や「不条理」で構成されており、時空を超えて「虫」や松阪ゆかりの「戦国武将」が
主人公に絡んできたりします。

季節は晩秋。山野楓の迎える冬は、春を迎えるための冬なのでしょうか。それとも・・・

脚本・演出：中北幸宏 演出助手：梨香 山口雅司

舞台監督：吉岡一巳 山口雅司 舞台監督助手：梨香

音響：弘重 徹 上村寿徳 照明：片谷秀夫 上村寿徳

舞台美術：吉岡一巳 戸田浩和 まあ 澤田千江美

制作・広報：奥村 茂 池田由美 梨香 山口雅司 戸田浩和 長谷川ひかり 大喜多可南子

【出演】

山野 楓…長谷川ひかり 小雪…澤田千江美

越冬燕のお竜…大喜多可南子 渡り鳥のウジサト…戸田浩和 澄香…池田由美

ノブナガ…吉岡一巳 ノブカン…まあ トモリ…奥村 茂 トモサ…松原秀武

【ゲスト出演】

橋本理恵子…見並文美（たまた演劇愛好会） 畑山珠江…喜多まち子（たまた演劇愛好会）

ハ雲…藤原伸久（たまた演劇愛好会） 豪…佐藤健史 冬樹…中森立樹

★ ふるさと再発見 ★

物語は松阪が舞台。特に今回の公演は知られざる郷土史をエピソードにしています。
例えばこんな人物や史跡が登場します。

北畠具教 織田信長 織田信雄 木造具政 蒲生氏郷 雪姫 大河内城跡 桂瀬山

